

日本藻類学会第 37 回大会開催記・参加記

山梨はいかがでしたか？

御園生拓

2013年3月27日-3月29日という日程で、山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市）において第37回大会を開催しました。2012年度は、すでに7月北海道大学において第36回大会が行われていましたが、それでも180名の方々に集っていただきました。山梨の地で、有意義な時間を過ごされたことと思います。

そもそもなぜ山梨だったのか。海藻研究に携わっていたわたしが山梨大に来たのはもうずいぶん前になりますが、山梨県で藻類研究を主とする研究者は実質的にずっと一人だけでした。実は、2007年の国際海藻シンポジウム（神戸）・藻類学会第31回大会において川井会長から山梨大での大会開催を打診されたのですが、そのような状況だったのでお断りするしかありませんでした。その直後、芹澤さんと芹澤-松山さんが山梨大においでになって、これならなんとかできるだろうか、というわけで、今回はお二人と相談の上引受けさせてもらうことにしたのです。ところが実際には、3月が近づくとつれて次々に出てくる膨大な準備作業のほとんどすべてを芹澤さんがこなしていってくれ、わたしはほとんど名前だけという「実行委員会」。それでも2013年明けからの各地から届く参加申込票、それに続く発表要旨の整理は大変な作業で、わたしのところの学生さんにも名簿作り等でだいぶ苦

勞してもらいました。特に、スタッフなどの資源に乏しい地方大学にとって大会開催はなかなかの大仕事です。これらの諸作業、なんとかマニュアル化・簡素化できないものでしょうか？

それでも何とか迎えた大会当日、基本的に芹澤さんのところの学生さんが総出で当たってくれたおかげで、ほとんど混乱もなくスムーズに進めることができました。学会総会に引き続き参加者のほとんど（150名）が参加の懇親会、大学生協ホールで、芹澤-松山さんの司会進行により、芹澤さん手配の潤沢な食べ物／飲み物に支えられて、実のある時となりました。山梨大学の技術による大学ワイン（赤／白）だけじゃなく、山梨の酒造各社からの地酒も十分に楽しんでいただけたものと思います。すっかり「長老」となられた石川先生、有賀先生、横濱先生のお元気なお姿に接することができ、わたしにとっても楽しい一時でした。二日目の発表も滞りなく進んで、予定通りにエクスカージョンもこなすことができましたし、大会並びに前日のワークショップもスムーズに終えることができたのは、ひとえに芹澤さんのマネジメント能力と、もちろん皆さんのご協力のおかげだと感謝しています。来年は東邦大とのこと、宮地さん、がんばってくださいね！

(山梨大学)



口頭発表は2会場、熱気に包まれて



懇親会は大盛況：横濱先生ご挨拶